

from

令和7年5月発行

ほうかつ

地域包括を
大解剖！

檜葉町地域包括支援センター事業報告 ～令和6年度の振り返りとこれからの意気込み～

檜葉町地域包括支援センターには、高齢者や障がい者の総合相談窓口として様々な相談が寄せられます。相談内容は多岐にわたるため、支援の充実に向け、関係機関と連携を図りながら業務を行っています。今回は、令和6年度事業報告と題してこの一年を振り返るとともに、令和7年度の重点事業についてご紹介します！



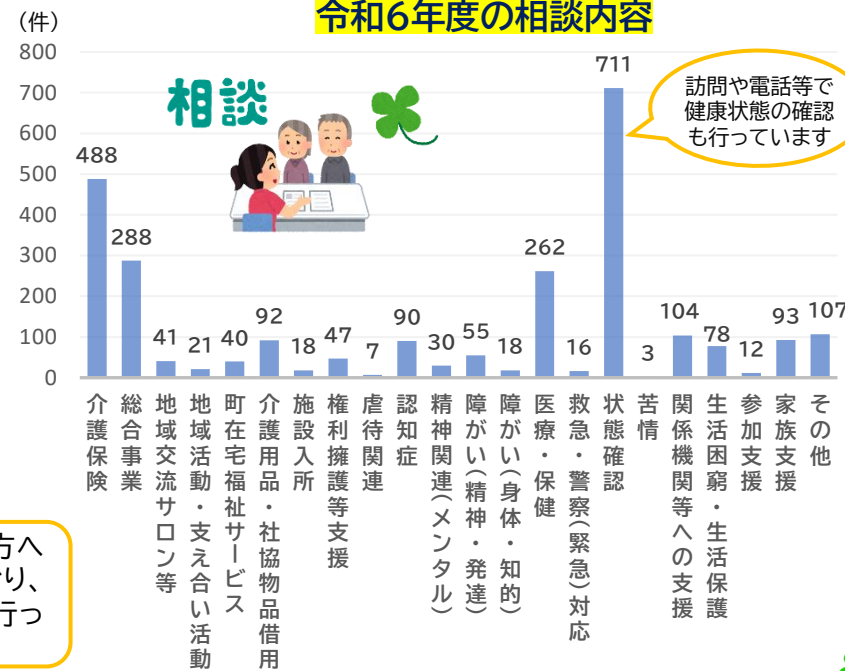
総合相談支援業務

令和6年度（令和6年4月～令和7年3月）に寄せられた相談件数は**2,621件**で、相談人数は延べ**2,209人**（実人数**304人**）となりました。相談内容は多岐にわたり、介護保険の相談、総合事業（介護予防事業）の相談、医療・保健に関する相談が多い結果となりました。また、状態確認（訪問や電話等による健康状態の確認）も昨年度より131件増えて711件となりました。



いわき市に居住する方への戸別訪問も行っており、継続的な相談支援を行っています。

令和6年度の相談内容



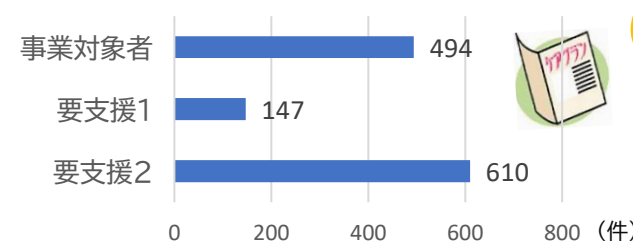
訪問や電話等で健康状態の確認も行っています

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

地域包括支援センターでは、「事業対象者」または要介護認定で「要支援1」「要支援2」となった方から依頼を受けて、介護予防及び日常生活支援を目的とした介護予防サービス計画書（ケアプラン）を作成しています。（町外に居住している方については居住先の事業所に委託しています）令和6年度のプラン作成数は延べ**1,251件**で、「要支援2」のケアプラン作成数が最も多く（**610件**）、次いで事業対象者（**494件**）となりました。

ご本人の意向を確認しながら必要なサービスを組み合わせ、ご本人に合ったケアプランを作成しています。

介護予防ケアプラン作成数



令和6年度もたくさんの相談対応を実施してきました。相談内容は、介護保険に関連することを除けば、認知症、医療・保健、生活困窮、家族支援等が多かったです。地域課題の解決に向けて、ワーキンググループの機能をもっと向上させなければ！と強く思う一年でした。



センター長 江尻

地域包括ケアシステム深化推進業務

地域共生ケア会議では、町や地域包括支援センターをはじめとした関係機関が集まり、個別事例の支援策について検討し、さらに地域課題の把握も行っています。令和6年度は、定例会議（月1回）と随時会議を合わせて**44回**開催しました。会議では、医療・介護・福祉等の専門職が集まり、対象となる方のニーズに合った支援方針を検討しています。このチーム連携を通して、「点」ではなく「面」で支援策を考えることにより、檜葉町の目指す地域包括ケアシステム（医療・介護・福祉・地域支え合い等の一体的な体制）の深化推進を目指しています。

地域共生ケア会議から見てきた主な地域課題

（高齢）

- 活躍、就労の機会
- 独居、認知症高齢者への生活支援

（障がい）

- 日中活動、就労の場
- 高齢障がい者（65歳以上）の介護サービスへのスムーズな移行

（虐待）

- 早期発見、予防的支援
- 養護者支援

（権利擁護）

- 認知症高齢者の権利擁護（成年後見制度等）
- 生活困窮者の制度利用申立て支援

（生活困窮）

- 深刻な状態への支援介入
- 早期発見、早期支援体制の確立
- 家計管理に問題を抱える世帯への家計支援
- 収入を得る機会、就労支援

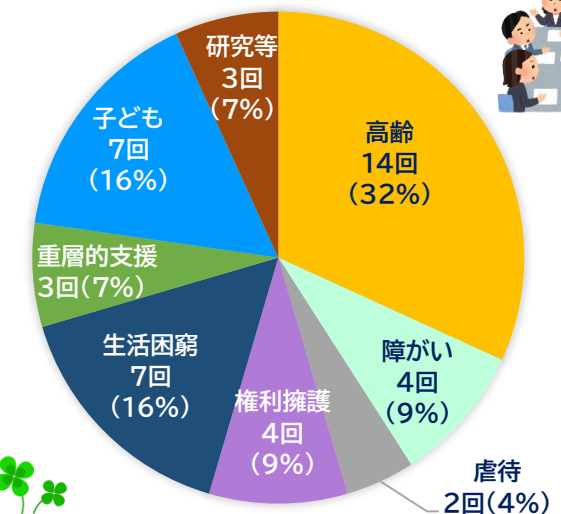
（重層的支援：複合課題を抱えた世帯への支援）

- 引きこもり、就労経験のない若い世代の社会参加の場、就労支援

（子ども）

- 多機関協働による子どもへのチーム支援
- 緊急時の社会資源（医療資源、子どもの預かり等）

個別事例の分野別割合



また、ワーキンググループ（地域課題の具体的な解決策の検討）では、福祉課題を抱える移住者支援等について協議したほか、権利擁護に関する会議、認知症初期集中支援チーム員会議、民生児童委員協議会定例会等の協議の場に参加し、多様化する地域課題と支援策について検討した一年となりました。



令和7年度ますますパワーアップ！ ～地域包括支援センターが取り組む重点事業～

地域包括支援センターは、福祉・介護・医療・健康面で「こんなときどうしよう？」という時の身近な相談窓口です。**個別支援と地域支援**（地域づくり）のどちらにも全力で取り組んでまいります！そして、住民の皆さんや関係機関と連携し、地域一体となって“みんなで支え合い 幸せを実感できるまち”の実現に向け、ますますパワーアップして業務活動を行っていきます！

チームオレンジの推進

チームオレンジは、檜葉町に暮らす私たちがひとつのチームとなり、**認知症になっても安心した暮らしを続けられるように、地域の皆さんと一緒に作り上げる支え合いのネットワーク**です。認知症の方自身もメンバーの一員としてチームオレンジに参加することが大きな特徴です。チームオレンジは、地域での見守りや困りごとを相談できる身近な体制として、認知症の方やご家族、地域の方が安心して暮らし続けられる地域づくりを推進していきます。地域みんなでチームオレンジの輪を広めていきましょう！



高齢者・障がい者の総合相談窓口

TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156

〒979-0604 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5（檜葉町保健福祉会館3F）

Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

お気軽に
ご相談ください。



地域づくりの
今！

令和6年度榊葉町地域ミニデイ情報交換会 ～年に一度の大交流会～

町内の地域ミニデイで活躍している代表や世話人の方々にご参集いただき、今後のより良い活動に繋げることを目的とした年に一度の大交流会を開催しました。今回はその様子をお届けします！



- ～参加地区～
- * 上井出地区
 - * 北 田地区
 - * 松 館地区
 - * 下繁岡地区
 - * 下小塙地区
 - * 前 原地区
 - * 大 坂地区
 - * 下井出地区
 - * 大 谷地区
 - * 繁 岡地区
 - * 宮 団地区
 - * 山田岡地区
 - * 山田浜地区

～情報交換会開催～ 令和7年3月18日（火）
地域ミニデイの代表の方が21名、町役場保健福祉課の担当者、社会福祉協議会（事務局、地域包括支援センター）の職員11名が参加しました。各グループに分かれて、地域ミニデイ運営の工夫や活動内容、悩み等たくさんの意見が出され活発な意見交換となりました。



～情報交換会効果～

情報交換会には32名とたくさんの方に参加いただき、熱のこもったグループワークが行われました。普段はあまり交流のない地区の方が集まり情報交換を行うことで色々な効果をもたらしたように思います。

- 効果
その1

各地区の活動内容を知り、自分の地区の活動を発信することでお互いに刺激のある情報交換となっていました。また、新しいアイデアや同じ悩みを知ることでミニデイの更なる発展に向けての活力を得ることができたようです。
- 効果
その2

普段はあまり交流のない方とのグループワークでしたが、皆さん笑顔で活発なコミュニケーションを図ることができ、顔の見える関係づくりに繋がりました。
- 効果
その3

関係機関の担当者も一緒に情報交換会に参加したことで、地域の一員として、地域の皆さんと一体となり取り組んでいることを実感することができました。

～参加しての感想～

保健福祉課長
遠藤 さん

皆さんの日頃の活動を知り、熱い思いが伝わってきました。榊葉町、社会福祉協議会も地域の一員として一丸となって地域づくりを応援していきます。

情報交換会での交流や新たなアイデアは、それぞれの地区の地域ミニデイに活かされると実感しました。今年度も各地域におじゃまし、地域づくりの様子をご紹介したいと思います。

榊葉町地域包括支援センター 職員紹介コーナー

～職員異動のお知らせ～（令和7年4月1日付）
■榊葉町地域包括支援センター 岡崎春香（事務局より異動）

センター長 江尻しのぶ

私は“君は一人でも大丈夫だね”と思われがちですが、実は……一人ではゴキブリ退治できないカヨワイ女性なんです！
そんな私が好きなお花は **かすみ草**
「花言葉：清らかな心」
2025年の目標は、身体をいたわりながら前へ進む！

生活支援コーディネーター 小林紀子

私は“よく食べそう”“お酒強そう”と思われがちですが、実は……その通りなんです！
そんな私が好きなお花は **繭梅（ろうばい）**
「花言葉：奥ゆかしさ」
2025年の目標は、余裕を持った行動（去年達成できなかったので）

社会福祉士 岡崎春香

私は“口数がすくない”と思われがちですが、実は……みなさんとお話することが好きなんです！
そんな私が好きなお花は **菜の花**
「花言葉：元気いっぱい」
2025年の目標は、失敗は成功のもと失敗を恐れずチャレンジ精神を大切にしていきたいです。

看護師 馬上友美

私は“頼りになるわ”と思われがちですが、実は……断れないだけなんです！
そんな私が好きなお花は **タチアオイ**
「花言葉：豊かな実り」
2025年の目標は、笑う門には福来る（笑顔で乗り越え、笑って健康に）